

第2回企画部会 議事概要

1 日 時 令和元年7月18日（木） 9:40～9:55

2 場 所 総務省第二庁舎 7階 大会議室

3 出席者

【委員】

西村 清彦（部会長）、北村 行伸（部会長代理）、河井 啓希、川崎 茂、清原 慶子、西郷 浩、白波瀬 佐和子、嶋崎 尚子、関根 敏隆、永瀬 伸子、中村 洋一、野呂 順一、宮川 努

【審議協力者】

総務省統計局統計調査部調査企画課長、財務省大臣官房総合政策課経済政策分析官、文部科学省総合教育政策局調査企画課課長補佐、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、政策評価担当）、農林水産省大臣官房統計部統計企画管理官、経済産業省大臣官房調査統計グループ統計企画室長、国土交通省総合政策局情報政策課建設経済統計調査室長、日本銀行調査統計局参事役、東京都総務局統計部長

【事務局（総務省）】

岩佐大臣官房審議官

統計委員会担当室：櫻川室長、鈴木次長、栗原次長

政策統括官（統計基準担当）：横田政策統括官、内山企画官

4 議 事

平成30年度施行状況報告の審議対象事項（案）について

5 議事概要

事務局（統計委員会担当室）より、資料に基づき、平成30年度統計法施行状況報告の審議対象事項（案）について説明が行われ、原案のとおり了承された。

主な発言は以下のとおり。

- ・事業所母集団データベースに格納する統計調査の範囲拡充等や消費税の取扱いに関するガイドラインの統計調査への順次導入・適用については、GDP統計の精度向上を図る観点から大変重要な事項であり、政府統計の司令塔たる企画部会において、統計法施行状況審議という形でチェックすべきと強く考えている。

また、GDP統計の精度向上を図る観点からは、公的統計基本計画に掲げられているもののうち、国民経済計算の「生産・支出・分配の三面の整合性等に関する研究開発プロジェクト」の推進について、本年6月の国民経済計算体系的整備部会でスケ

ジュールの明確化が重要であると指摘しており、同部会において確認いただきたい。
→今回はスケジュール等を考慮し、審議対象事項（案）のとおりとしたい。GDP統計は非常に重要であるが、本来は、その他の分野の課題についても多くの事項を企画部会で審議できることが望ましい。他にも重要な課題が多々あることについてテイクノートしておくこととしたい。

法人企業統計調査及び消費者物価指数に関する事項については、国民経済計算体系的整備部会において議論することとするが、国民経済計算の基礎データとして重要であるだけでなく、一次統計としても幅広く利用されているという側面があるため、国民経済計算体系的整備部会においては幅広く考えて十分な議論をしてもらいたい。

次回の企画部会は調整中であり、日時、場所については、事務局から別途連絡する旨、案内された。

以上

<文責 総務省統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>